



択捉島

国後島

色丹島

歯舞群島

我らの北方領土！

令和7年度
北方領土青少年現地視察事業
体験報告

発表の流れ

- ① 現地視察事業の内容
- ② 観察をとおして
- ③ 観察後に取り組んだこと
- ④ 今後に向けて





①現地視察事業の3日間で行ったこと (令和7年7月30日～8月1日)

1日目 (7月30日)

1日目を終えての
ミーティングの様子



北方展望塔



①視察（1日目）



叫びの像



元島民の話（島での生活）

漁師が多く、子供も手伝っていた

毎日学校には行かず雨の日だけ。

生活に不自由はなかった。

夏は海で泳いだり冬はスキーができた。



清田さん

元島民の話（ソ連兵の侵攻）

- ・ソ連軍が家に入ってきて鉄砲を向けてきた。
- ・家族に起こしてもらい流し台の窓から逃げた。
- ・強制労働をさせられ、軍服を洗つたりした。
- ・10月ごろに日本船が迎えに来て函館に帰った



高橋さん

2日目(7月31日)



北方四島交流センターニ・ホ・ロ



野付半島のキタキツネ

①視察(2日目)

間欠泉

一定の間隔で熱湯や
蒸気を噴き出す温泉
のこと

この間欠泉は約8m
ほど噴き上げる



①視察(2日目)

チヨウザメに指を噛ませる体験
⇒チヨウザメには歯がないため可能

世界でここだけの体験
ボスザメになると全長140cm
もあり、指四本を加えられる



①視察(2日目)

北方四島交流センター 二・ホ・ロ

根室高校生徒による出前講座

北方領土を開拓した人の

ことやその当時の記録など
の歴史に関する資料が
豊富だった



根室高校の生徒は北方領土の返還に向けた活動や北方領土への关心を深める活動をしている
主な取り組みは
ポスターの作成
キャラバン隊など



北方領土返還を求める看板

根室市内には、返還を求める看板の他、
道路標識がロシア語でも書かれています。

3日目(8月1日)



①視察(3日目)

納沙布岬



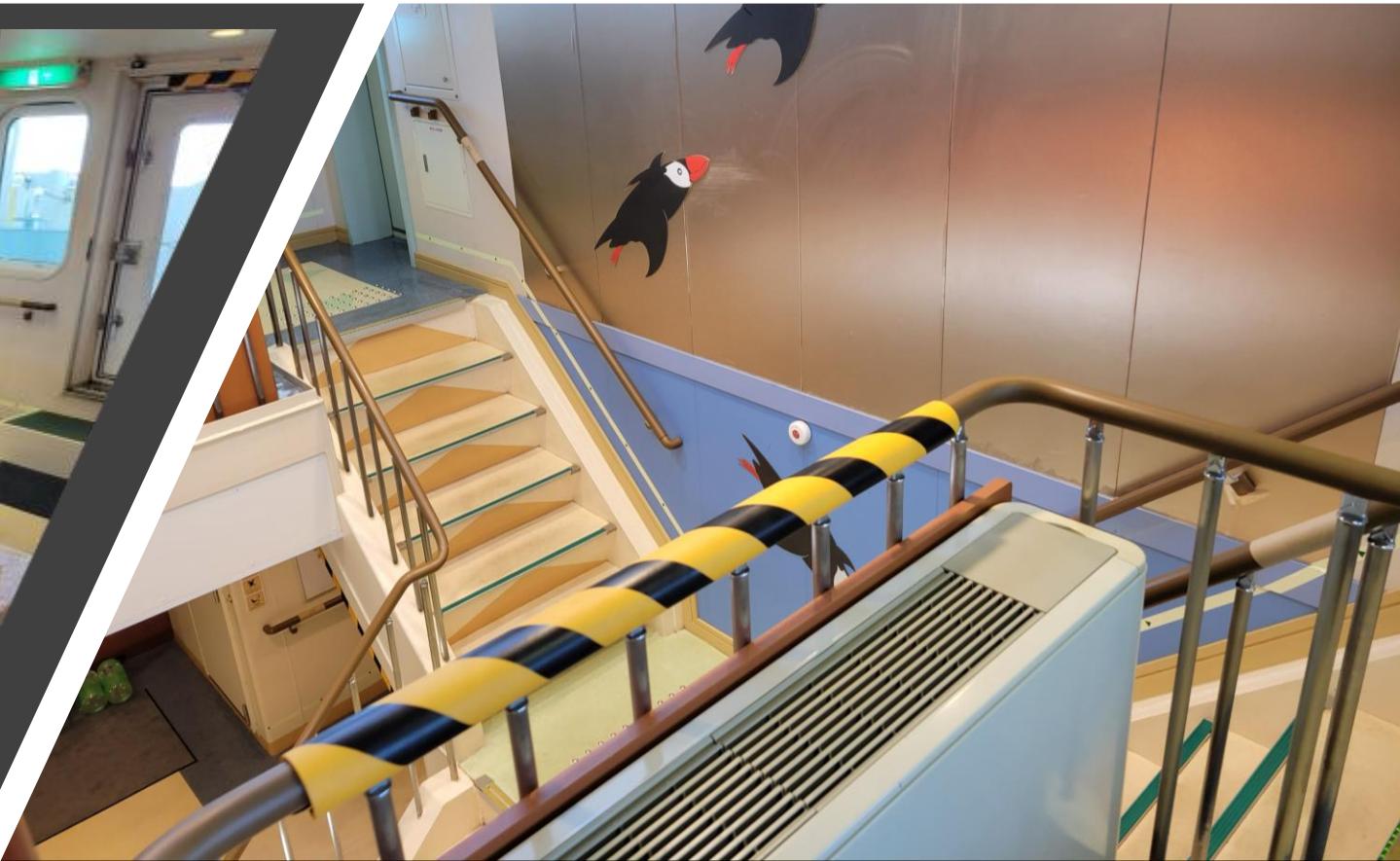
北方領土資料館

北方領土問題に関する展示物があり、館長さんが分かりやすく解説してくれる。電子双眼鏡が無料で利用でき、晴れた日は北方領土にある民家などを見ることができる



①視察(3日目)

えとぴりか (北方四島交流等事業の船)



②現地視察事業を通して



電子双眼鏡から見えたラッコ



参加者の集合写真（納沙布岬にて）

②視察を通して

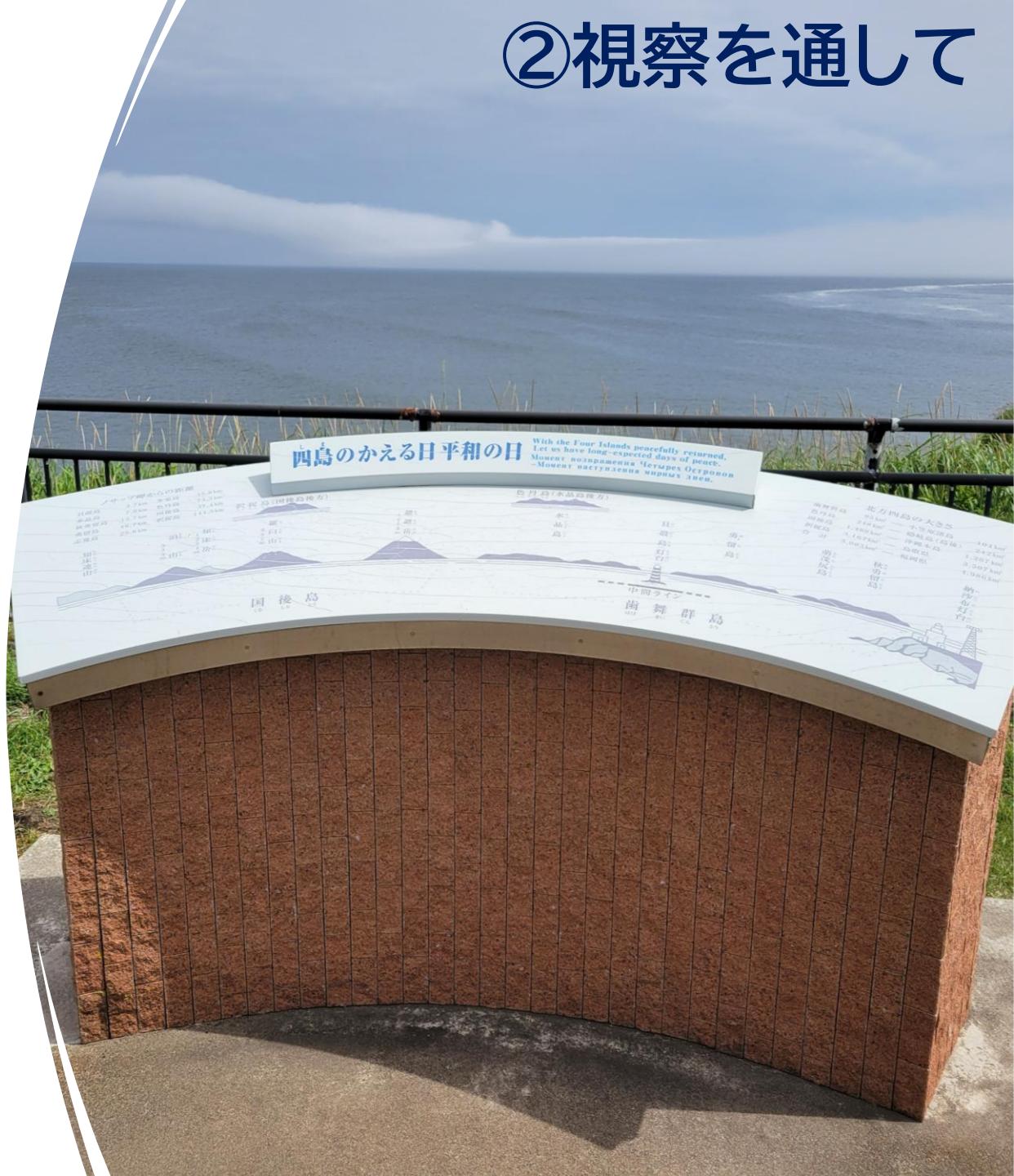
- ・北海道に行ったからこそ、この問題に対する知識だけでなく、実感として深められたと感じた。
- ・多くの人がこの問題を知って、それぞれの人が自分なりの考えを持って活動していくことが大切だと思った。



- ・北方領土問題に対する
る関心が高まつた。
 - ・北方領土問題について、
知る、広める、
ことが大切だ
と思った。



②視察を通して



②視察を通して



北方領土問題について、僕は今回の視察で関心がとても深まったが、視察にきてない人はまだ知らない段階だと思う。北方領土問題についての関心が高まらないと解決に向かわないでの、知らせていくことが必要であると思う。

②視察を通して

- ・ "正しい"情報を広める、広げる。
- ・ 小中学校でも詳しく北方領土について知れる時代を作る
- ・ ただ"返してほしい"から今後の根室、四島の未来まで続く教育を



②視察を通して

今回は知識を”自分のもの”として獲得できた
・自分たちと関係のあることだという意識を持つ
・自分なりの考えを持つ



③視察後の取組(二之江中)

③視察後に取り組んでいること 二之江中学校の取組



全校朝礼での発表の様子



パネル展示

③視察後の取組(二之江中)



校内弁論大会での発表の様子

- ・夏休みの宿題で意見文のテーマに設定した
- ・学年弁論大会の代表弁士として、発表した

③視察後の取組(筑波大附属中)

第一問



矢印で示されたこの島の名前は何?

択捉島

佐渡島

飛島

色丹島

- ・ クイズを作成し、webにアップロードする予定
- ・ 学校の文化祭において、部活の取組で北方領土に関する模造紙の展示やクイズを出題

第二問

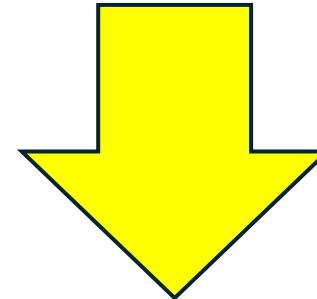


←web上のクイズ

④今後に向けて

課題

若者も含め、北方領土問題について関心が低いこと



まずは、北方領土問題を
知ってもらうことが大切である

知ってもらうためには（私たちからの提案）

- ・北方領土に関する資料をデジタル化し、全小中学校に配布する
- ・SNSを通して、関心をもってもらえるような投稿をする（クイズなど）
- ・現地視察事業に参加した生徒が発信する場の確保

次年度の現地視察事業についての提案

- ・できる限り、多くの学校から参加者が集まるようすること
- ・元島民の方から直接話が聞けること
- ・現地のロシアの方との交流



ご清聴、ありがとうございました。

